

鹿屋市立東原小学校 特別の教育課程の実施状況等について

1 特別の教育課程の概要

本校では、令和 3 年度～令和 4 年度、市内全小学校が文部科学省教育課程特例校の指定を受け、下述の 時数を確保し、現行の学習指導要領（外国語活動・外国語科）を踏まえて、「英語科」として先進的な英語教育の実践研究を推進しています。

英語大好きな子どもたちをイメージし、小学 1 年生から児童の興味・関心や理解度に合わせた英語を使って段階的に指導し、小学校 6 年間を通して、総合的にコミュニケーション能力の基礎を育成し、小・中一貫による英語教育の推進を図ることを目指しています。

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年 (教科)	6 年 (教科)	総時数
年間時数	20	20	35	35	70	70	250
使用する教材等	オリジナル	オリジナル	Let's Try!1	Let's Try!2	教科書 My Book Picture Dictionary	教科書 My Book Picture Dictionary	

鹿屋市の英語教育の目指す生徒像

「地球規模で様々な問題を考え、郷土の魅力を生かして、英語を使って、能動的に課題解決に向けた行動を起こす児童生徒の育成」子どもたちが英語の学習に主体的に取り組み、コミュニケーション能力を育成した結果、郷土の課題解決に貢献したり、グローバルな視点を持ち、郷土の魅力を世界に発信し、持続可能な社会の発展に貢献したりする人材の育成を目指します。子どもたち・先生方・学校・保護者・地域が一体となって、「わくわく」するような授業を一緒につくり、多文化共生社会を生き抜く「グローバル人材」の育成を目指します。

2 本校の教育目標

人権尊重の精神を基調に、自ら学び、心豊かで、心身ともにたくましい子供を育成する。

3 本校の令和 3 年度英語教育の実践について

(1) 1・2 年生の取組

あいさつ、色、果物、動物等、ゲームや歌を通して楽しく親しむ。

(2) 3・4 年生の取組

数、好きな物、曜日、欲しい物等を歌やチャンツ、ゲームを通して慣れ親しみ、コミュニケーションを親しむ。

(3) 5・6 年生の取組

慣れ親しんだ言葉でコミュニケーションを図るとともに、音と文字の関係を大まかにつかみ、言語とその背景にある文化に対する理解も深め、相手に配慮したコミュニケーション能力を養う。

(4) 鹿屋市各地区英語教育圏推進会議について（小中一貫教育）

中学校の先生による小学校 6 年生への授業（令和 3 年度はコロナ禍の為実施せず、令和 4 年度は実施予定）

(5) 校内研修体制について

年2回の研究授業を実施(上下学年毎に1学級ずつ 4年, 6年)

3つの研究班で, 研究の全体の方向性の提案, 授業の充実, 校内の英語環境の充実を図った。
(研究推進班, 研究授業班, 環境整備班)

4 特別の教育課程の実施状況に関する検証結果

(1) 自己評価(児童)の結果から

英語の授業は楽しいですか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
楽しい	100%	94%	75%	57%	67%	79%
どちらかという楽しい	%	6%	13%	30%	17%	14%
あまり楽しくない	%	%	12%	13%	12%	7%
楽しくない	%	%	%	%	4%	%

(2) 自己評価(教員)の結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は, 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
50%	50%	%	%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。(自由記述, 一部抜粋)
英語に対する苦手意識を持たせないで, 楽しく英語に親しませる。
いろいろな国の人とコミュニケーションがとれる人になってほしい。

(3) 保護者評価結果から

Q1 お子さんは, 英語の授業が好きですか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
48%	37%	14%	1%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。(自由記述, 一部抜粋)
日常の中で楽しみながら自然と身につく英語。 楽しく英語に接してほしい。
将来, 役に立ち, 英語に興味や関心を持ってほしい。

(4) 学校関係者評価結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は, 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
86%	14%	%	%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。(自由記述, 一部抜粋)
英語教育に1年生の段階で学ぶことで外国への興味が生まれるので良いとおもいます。

5 令和4年度の取組について

(1) 1・2年生の取組

あいさつ、色、果物、動物等、ゲームや歌を通して楽しく親しんでいる。

(2) 3・4年生の取組

数、好きな物、曜日、欲しい物等を歌やチャンツ、ゲームを通して慣れ親しみ、コミュニケーションを親しんでいる。

(3) 5・6年生の取組

慣れ親しんだ言葉でコミュニケーションを図るとともに、音と文字の関係を大まかにつかみ、言語とその背景にある文化に対する理解も深め、相手に配慮したコミュニケーション能力を養っている。

金曜日の朝の活動において、英語による読み語りを実施している。

(4) 鹿屋市英語教育圏推進会議と鹿屋市各地区英語教育圏推進会議（小中一貫教育）について

小・中1校ずつ授業を提供し、「話すこと（発表）」について研修を深める・

(5) 鹿屋市小中学校英語弁論大会（小学校：スキット部門）について

5・6年生から1組出場予定。

(6) グローカル・イングリッシュキャンプについて

希望者を募った。

(7) 国立台北教育大教育実習生の受入による交流授業並びに遠隔授業について

9月12日～9月22日まで実習生を受入。

実習生の帰国後は、東良小と台北をインターネットでつないで授業を実施する予定。

(8) スピーキングクエストの実施について

6年生が各学期1回ずつ実施。

(9) 校内研修体制（イングリッシュガイドブック・学習指導案等の活用）について

イングリッシュガイドブックを全職員に配布し、研修で活用している。

校内研修で授業を通じた研修を深める。